

令和7年度 一宮小学校 総括評価表Ⅲ(健やかな身体の育成)

自 己 評 価			学校関係者評価	次年度への課題と		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	学校関係者の意見	今後の改善方策		
早寝・早起の習慣や運動習慣・基礎体力が身に付いていない児童がいる。	<p>Ⅲ) 健やかな体の育成</p> <p>元気でたくましい子どもの育成</p> <p>① 運動習慣の定着や学校体育を充実し、体力や運動能力の向上に努める。</p> <p>② 早寝・早起き・朝ごはんの習慣の定着を図る。</p> <p>③ 保護者や地域との連携を大切にし、食育や健康に関する学習を充実させる。</p> <p>④ 交通事故、災害からの身の守り方を理解し、実践できるよう、安全教育の充実を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 児童・保護者アンケート「しっかり運動している」の達成率80%以上</p> <p>①-2 高学年の体操・水泳・陸上等の大会や業間かけ足等の練習日数を60日以上行う。高学年の体操・水泳・陸上等の大会への練習参加率50%以上</p> <p>①-3 体力テストによる体力総合評価がC以上の割合が80%以上</p> <hr/> <p>②-1 児童・保護者・アンケートによる「早寝・早起き」の達成率70%以上</p> <p>「朝ごはん」の達成率80%以上</p> <p>②-2 長期休業中の生活習慣チェックでの目標達成率60%以上</p> <hr/> <p>③-1 食育・健康に関する学習を学期に1回は行う。</p> <p>③-2 むし歯(う歯)の者の割合が県平均以下(令和7年度36.6%)</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>①-1 児童96%、保護者86%となり、児童も保護者も指標を上回った。</p> <p>①-2 63日実施。体操43%・水泳43%・陸上57%・駅伝50%、平均48%となり、指標を下回ったが、参加した児童は達成感や成長を感じられる取り組みができた。</p> <p>①-3 体力テストによる体力総合評価が、C以上の割合が78%となり、わずかではあるが、指標を下回った。</p> <hr/> <p>②-1 「早寝早起き」では、児童87%、保護者76%で、指標を上回った。「朝ご飯」については、児童96%、保護者86%となり、指標を上回った。</p> <p>②-2 夏休み中の生活習慣チェックでは、「朝ご飯」の達成率は61%であり指標を上回った。</p> <hr/> <p>③-1 各学年とも、特別活動や体育科、家庭科、給食の時間等を通して、食育・健康に関する学習を1回以上行うことができた。</p> <p>③-2 一宮小学校のむし歯(う歯)保有児童の割合は43.8%で県平均(36.6%)以上だった。</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>B</p> <p>(所見)</p> <p>重点目標①については、アンケート結果から、運動に親しんでいる児童が多く見られる。ただ、高学年については、体力の向上への意識や放課後練習への参加については、個人差があり、二極化しているように感じられる。一方、体力テストの結果では、合計C以上の割合が全校の78%となり、指標をわずかに下回った。しかし全国平均(男子65.8%、女子69.5%)を大きく上回っており、高い水準を維持している。保護者・教職員のアンケートの「運動の機会を多く持てるように努めているかどうか」の項目では91%、93%と高い評価を受けることができた。重点目標②については、「早寝・早起き」の生活習慣の改善が感じられるように、家庭と連携した取組を継続していきたい。重点目標③については、様々な教育活動において、ゲストティーチャーを招聘するなど、学年に応じた食育・健康に関する学習を進めていきたい。重点目標④については、交通安全教室や避難訓練の度に児童と共に自分の身の守り方を考え、有事の際には、適切な行動を判断できるように、継続して指導していきたい。</p>	<p>①市の体育事業に関連する放課後練習では、児童が互いに声をかけ合い、切磋琢磨してほしい。共に汗を流し、一つの目標に向かって活動する喜びを実感することを期待する。</p> <p>②決まった時間に声をかけることで就寝時間を守らせている家庭もある。また、タブレットの動画視聴についても、あらかじめ決めた時間で切り上げる習慣が定着している家庭もある。</p> <p>③就寝・起床時刻の厳守や、朝食の摂取といった基本的な生活習慣は、家庭環境に大きく左右される。学校側には、保護者に対する啓発活動を今後も継続してほしい。</p> <p>④近年は大きな台風被害を免れているが、過去の事例を忘れてはならない。特に一宮地区は河川に囲まれており、登下校時の危険性が高い。引き渡し訓練などの現状の取り組みを維持しつつ、今後、大雨や暴風雨の時の対策も継続してほしい。</p>	<p>①評価指標を上回るように、全校児童で体力向上を図っていきけるような活動を、今後も学校行事や縦割り班活動の時間、昼休みなどに多く取り入れていく。友達と一緒に体を動かす楽しさや、自分の体力が向上したりできなかったことができたようになったりする喜びに触れられるように、今後も体育の授業の研修などを行い、授業改善に努める。また、放課後の練習参加への声かけを積極的に行い、さらに運動への意欲を高めていきたい。</p> <p>②規則正しい生活習慣を定着させるために、学校全体で連携して啓発活動を行う。生活習慣チェックを行い、結果や課題を周知することで、児童・保護者・教職員が共通の課題意識をもって取り組むことができるようにする。</p> <p>③今後も学年に応じた食育・健康に関する学習を充実させていく。むし歯保有児童の割合が県平均より高いので、継続的な指導が必要である。全国歯磨き大会への参加や歯科衛生士による歯磨き教室の開催を再開する必要がある。</p> <p>④避難訓練については、アップデート途中である。来年度は例えば、時間を伝えず避難訓練をする。休み時間に避難訓練をする。崩落場所を知らせずに訓練をする。など、児童や教職員に知らせる条件を変えながら、実施することが必要である。</p>
		<p>活動計画</p> <p>①-1 1年間を通して体育の導入等で体力づくりを実施するなど、運動する機会を増やし、運動しようとする意欲や体力の向上を図る。</p> <p>①-2 外遊びや体操・水泳・陸上等の大会を奨励し、運動の習慣づけをはかる。</p> <p>①-3 運動の苦手な児童が、運動しやすい環境を整えるために、児童同士による話し合いの場を設けたり、授業の目標を児童の実態に合わせて示したりする。</p> <hr/> <p>② 健康教育や啓発活動を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と家庭との連携を図る。</p> <hr/> <p>③-1 食育や健康に関する学習の成果を家庭に伝え、学習内容が家庭生活に生かされるよう、家庭との連携を図る。</p> <p>③-2 むし歯の早期治療のための家庭への啓発活動を継続して行う。</p> <hr/> <p>④ 実践につながる交通安全教室を行うとともに避難訓練を見直し、いざというとき自分の身を守るようにする。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 授業の導入などで体力向上を図る活動を各学年で取り入れた。業間かけ足や長縄跳びチャレンジなど体力向上につながる取り組みができた。</p> <p>①-2 20分休みや昼休みには、ほとんどの児童が運動場に出て、鬼ごっこやサッカーなどの外遊びをする姿が見られた。また、多くの児童が体操・水泳・陸上等の大会へ向けて練習する機会を得ることができた。</p> <p>①-3 異学年で実施する体育の授業の中で、児童の実態に合わせて活動の場やルールを工夫することで、全ての児童が運動しやすい環境作りを工夫した。</p> <hr/> <p>② 保健だよりや掲示を通して朝ごはんの大切さについて啓発するとともに、健康委員会による食育集会を実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」をテーマに生活習慣の改善を促した。長期休業中には、生活習慣チェックを実施し終了後は保護者にコメントをもらい家庭との連携を行った。</p> <hr/> <p>③-1 保健だよりや学年だよりを通して、食育や健康に関する学習の内容を家庭へ知らせることができた。</p> <p>③-2 むし歯の早期治療を促すため、家庭に向けて保健だよりや歯科健診結果の通知を配付した。また歯や歯ぐき、歯列の状態を書いた児童用の健診結果を作成し、家庭でも口腔内の状態を視覚的に把握できるようにした。</p> <hr/> <p>交通安全教室については、運動場で実施することができた。校外学習で横断歩道を渡る時に、右・左・右を見たり手を挙げて渡ったりする様子が見られ、実践に繋がっていることが分かった。また、研修を通して避難訓練をアップデートし、職員も児童も自分の身を自分で守る方法について学校全体で考えることができた。</p>			

「総合評価」における「評定」の基準 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった